

## 比較表Sample

宅地防災マニュアルの解説〔第二次改訂版〕(H19/12/5) 新旧比較表(概要書)

(株) S I Pシステム 技術サービス (H19/12)

旧頁	〔改訂版〕宅地防災マニュアルの解説 (H10/5/15 初版発行の H10/11/20 再版発行)	新頁	〔第二次改訂版〕宅地防災マニュアルの解説 (H19/12/5 初版発行)	備考
	共通事項 1) 単位を「重量 ton」で表示。例：4kgf/m <sup>2</sup>		共通事項 1) 単位を「重量 ton」と「N単位」を併記。 例：4kgf/m <sup>2</sup> (400KN/m <sup>2</sup> )	
5	(本文編) I.総説	1	(本文編) I 総説	
5	I.2 対象範囲	1	I.2 対象範囲 ：「滑動崩落防止対策」に関する記事を追記。	
12	VI.3 盛土のり面の安定計算の検討 4) 最小安全率	8	VI.3 盛土のり面の安定計算の検討 4) 最小安全率 ：大地震時の安定計算に必要な水平震度は、0.25 に建築基準施行令第 88 条項第 1 項に規定する Z を乗じると追記。	
		8- 9	VI.5 盛土全体の安定性の検討 ：記事全文追記。	
13	VI.5 盛土の施工上の留意点 4) 敷均し	11	VI.6 盛土の施工上の留意点 4) 敷均し ：敷均し厚さ(まき出し厚さ)をおおむね 0.3m 以下と追記。	
		11	VI.7 地下水排除工 ：記事全文追加。	
26	IX.6.10 軟弱地盤上の盛土端部の安全率 常時においては、盛土施工直後において $F_s \geq 1.2$ と記載。	22	IX.6.10 軟弱地盤上の盛土端部の安全率 ：常時の安全性を確保する・・最小安全率は、大地震時に $F_s \geq 1.0$ とすることを標準とする。と記載(1.2 は削除された)	
		39- 43	XV 滑動崩落防止対策 ：全文記事追加	
45	(解説編) I.総説	47	(解説編) I.総説	
46	I.2.対象範囲	48	I.2.対象範囲 ：解説の項目で③宅地造成等規正法第 20 条・・の分を追記。	